

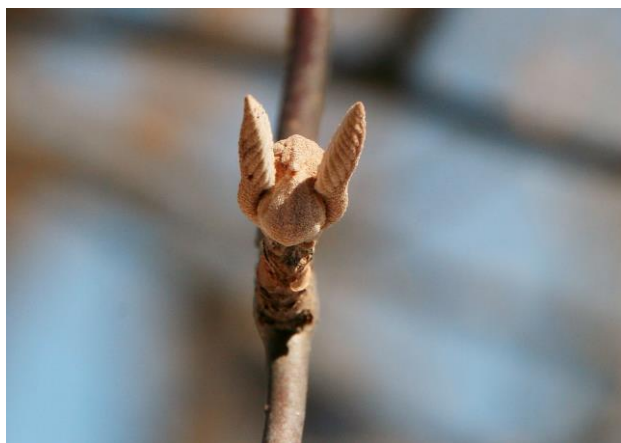
発行：NPO 法人蔵王のブナと水を守る会
(ナショナル・トラスト事務局)

〒989 - 0231 宮城県白石市福岡蔵本字滝下 102

ホームページ： <http://www.zao.org>

草木は萌え花が咲き始め、南からつばめが渡ってくる季節となりました。自然界は今年もいつものように春が訪れました。しかし新型コロナウイルスは1年が過ぎても収束の気配がありません。いまだ不要不急の自粛要請が出されています。当会も皆様方とのイベントや育林作業は今年も自粛せざるをえません。当面は会員のみで感染に気を付けながら作業は行っていきたくと思っています。ただし、少人数のお友達やご家族で感染対策のうえ植林地の散策に来ていただくのは構わないのではないかと考えております。4月5月はカタクリ、サクラ、スマレ、ツツジなど花の季節でもあります。小鳥の声を聴きながら、ゆったりと森を歩いてみてはいかがでしょうか。早く安心して過ごせる日が来ることを願っています。

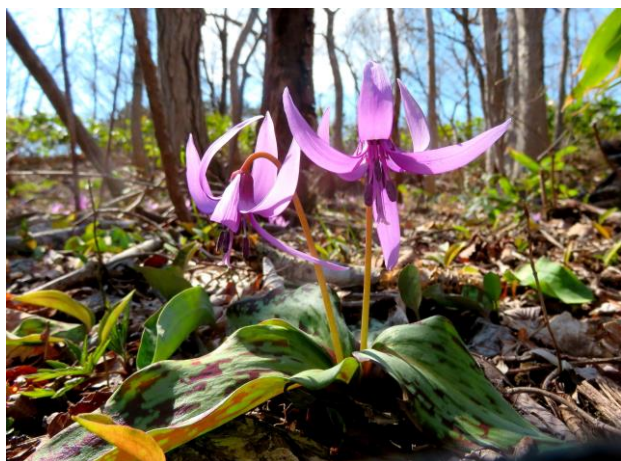
2021.2.28 オオカメノキ (ムシカリ)



2021.2.28 マンサク



2021.4.11 カタクリ



2021.4.11 オオヤマザクラ



《 コロナ禍でも、しっかり行った 2020 年度の活動 》

理事長 白内 恵美子

2020 年度の活動は、新型コロナウイルス感染症予防のため会員のみの活動となりました。春を食べる会やコンサート、6 月・7 月の育林活動で支援頂いている皆様とお会いできなかったことは、本当に残念でした。今年も感染拡大により、会員のみで活動していく予定です。

育林活動は森の中での活動ですから、コロナ禍においても活動そのものはほぼ順調に終わることができました。しかし、昨年は日曜日に雨が多く、動物生態観察の撮影や樹木名板の設置には苦労しました。

昨年度から持ち越しとなった樹木名板の設置は、3 月の森の教室と 4 月の定例会で終了。真っ白な名札を付けられた樹々たちは、ちょっと気恥ずかしそうに見えましたよ。



2017 年から行っている 3 つの森の 8m 以上の樹木調査を、今年も 3 月から 4 月にかけて行いました。土壌条件の良かったリスの森とアナグマの森の伸びが良く、ススキや笹のはびこるやせ地だった彩遊の森との違いが表れています。

場所/調査年度	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
リスの森 (2.5 ha)	7	44	100	179	287
アナグマの森 (2.5 ha)	10	90	182	239	451
彩遊の森 (8.0 ha)	?	18	49	124	227
年度別本数	17+?	152	331	542	965

カメラを設置しての動物の生態観察は、順調に進んでいます。カメラを追加したお陰で設置場所を 5 か所に増やし、アナグマ、キツネ、タヌキ、ハクビシン、クマ、イノシシ、カモシカ、テン、ウサギ、フクロウ、ヤマドリ、アオバトなど多種類の動物の撮影ができました。会のホームページに動画をアップしておりますので、是非ご覧ください。

長い間、パイオニアプラントとして頑張ってブナやミズナラなどの将来の主役となる木々を守ってくれたヤマハンノキ苑に、会員が手紙を書きましたので次のページで紹介します。

お礼の手紙

仲村 得喜秀

ヤマハンノキ様へ

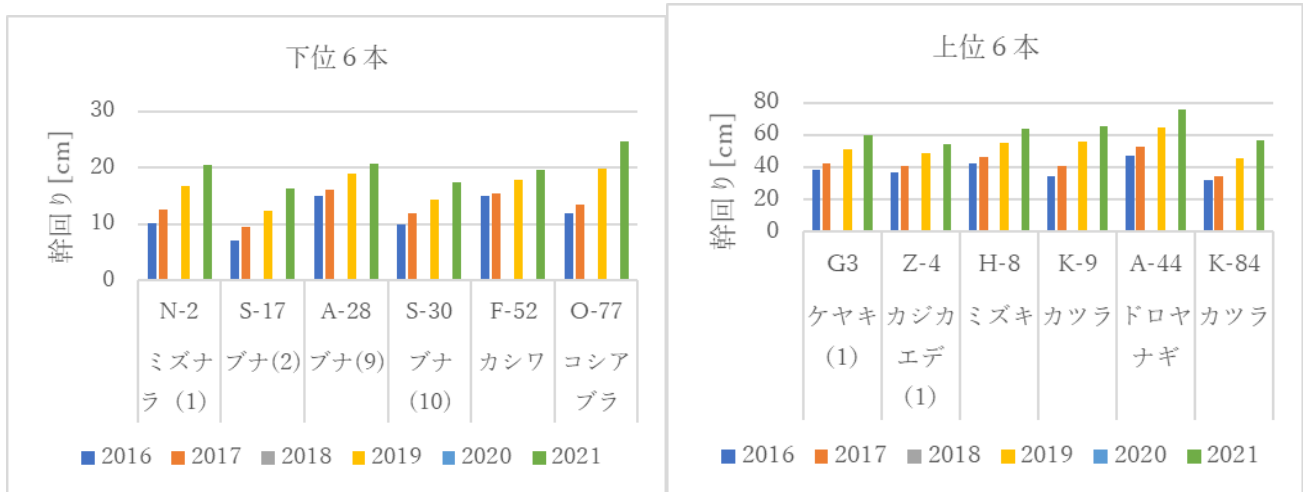
いつか森づくりがしたいと思っていた、そんな時
本の中でパイオニアプラントのことを知った
あなたと初めて逢ったのは、道路工事ののり面でした
どんどん伸びていくあなたは 正にジャックと豆の木でした
あなたのことを調べてみたら、ヤマハンノキという名前でした
害虫の種類が多く、寿命は短いとの事でした
根を掘ってみると、赤紫色の根粒菌がついていました
これで空気中の窒素を吸収して、それを養分にするという
だから、やせ地でも伸び、土も肥やすので肥料木なのだという
私はそんなあなたに一目ぼれ、ビビッときました
南蔵王の高原の荒地の中で 森づくりができることになった
ススキや笹の原野があなたを呼んでいた
この一帯は、かつてはブナの原生林でした
不幸な時代があって、今は見渡す限りの吹きさらし
さあ植林だ、ブナやミズナラの間あなたも同じだけ植えました
このやせた大地でも、あなたはたくましく伸びてくれました
私の仲間も、あなたのことが大好きになっていました
ブナやミズナラは寒風害や動物の食害でマイナス成長です
そして、5年もたつと、あなたの枝打ちが必要でした
日が当たるようになると ブナやミズナラも伸びはじめました
地上では、あなたが強風や寒さから彼等を守り
地下では、土壌を肥沃にして、彼等を助けてくれました
10年もたつと高枝鋸での枝打ちになりました
サクラ、コブシ、ナラ、カエデ、カバノキ、みんな花を咲かせ始めました
13年で、一本の植林ブナに花が咲いた、感激
15年もすると、あなたの立ち枯れが目につくようになりました
パイオニアとしてのあなたの役割が終わりに近づいていたのです
あなたが枯れれば枯れる程 他の広葉樹達が伸びていく
やせ地では強かった、あなたの菌根菌が
肥沃になった土の広葉樹の菌根菌に負けていく
間伐されたあなたは今、小屋のストーブの薪となっている
あなたの枯れた跡地には、他の広葉樹が芽生えています
20年、場所によっては もう あなたは見られません
吹けば飛び散るケン粒程のあなたの種子は
木枯らしに吹かれ まだどこかのやせ地で芽を出すでしょう
自然災害の多いこの国の森の復元力の強さは
あなた達あつてのものなのでしょう
大変お疲れ様でした、又どこかで逢いましょう

《 マイツリー事業報告 》

マイツリー計画が2016年に実行に移され、2020年で終了しました。当初目標の80本に対し、69本の申込みを頂き、有難うございました。この計画の準備は2015年秋から始まりました。対象樹木の選定及び番号付けに始まり、パンフレットの作成、HPへの掲載、申込書の作成、管理表の作成、名板の製作もみんなで行いました。その後の申込者への報告も大変でしたが、いい思い出になりました。今回測定した56本は初めて5年目を迎えるマイツリーです。

細い順に下から6本、太い順に上から6本抽出して5年間の成長度合いをグラフにしてみました。太さの違いはありますが、どの木も順調に成長しているようです。

ここまで順調に育ってくれたマイツリーたちに心から感謝しています。みんな、ありがとう！！



5年間太さのトップを守り切ったドロヤナギです。

ナショナルトラスト基金報告

ナショナルトラスト基金をお寄せいただき、ありがとうございました。

2020年1月～12月の累計は、以下のとおりです。

2020年度件数 20件

2020年度金額 108,000円